

ふくすこ通信

第16号

2026.5

ふくやま・すこやかクリニック 明石市西明石北町3丁目1-23 TEL078-924-0500



春

日中は汗ばむ陽気が増えてきました。

気温の変化で体調を崩しやすい時期です。

無理をせず、水分と休養を大切に過ごしましょう。

当院でも ABI 検査ができるようになりました！

 ABI 検査とは動脈硬化を評価する1つの検査です 

お知らせ

●ABI 検査でどのようなことがわかるの？

動脈硬化の進み具合がわかります。
動脈硬化は動脈が老化して血管の弾力がなくなったり、
血管内のプラークと呼ばれるものが溜まったりして内腔が狭くなった状態をいいます。
正常では、両腕と両足の血圧を測ると足首のほうがやや高い値を示します。
しかし、血管の中が狭くなったり詰まったりすると血流が悪くなり、
足首の血圧が腕の血圧より低くなります。
こういった動脈の狭窄や閉塞は主に下肢の動脈に起きることが多い為、
上肢と足首の血圧の比によって狭窄や閉塞の程度がわかります。

●検査対象となるのはどのような人？

主に高血圧、高脂血症、喫煙、肥満など動脈硬化の
危険因子をお持ちの方を対象に検査をしています。

●検査はどのように行われるの？

ベッドに仰向けに寝た状態でしばらくの間安静にさせていただきます。
両腕、両足首に血圧測定のための帯を巻きます。
厚手の衣服を着ている場合は、薄手のもの1枚にしてください。
靴下をはいている場合は、脱いでいただくか、かかどが出るくらいまで下げてください。
手首に心電図の電極、胸元に心電図のマイクを取り付けます。
両腕、両足の4か所で血圧を測定します。
通常2回測定します。

△注意

透析用シャントがある場合や乳房切除または手術後など、
血圧測定をしたり締め付けたりしてはいけない部分があり
ましたら検査前に申し出てください



